

全国大会を控えたりハーサルに集中する生徒たち(桐生大学付属中で)

ミッション解決策で全国大会へ



18日「クエストカップ」出場

桐生大学付属中

桐生大学付属中学校(久保田信一郎校長)の2、3年生5人のグループが東京都千代田区の法政大学市ヶ谷キャンパスで18日に開かれる「クエストカップ2017全国大会」(教育と探究社主催)に出場する。民間企業から出された課題(ミッション)に対する自分たちなりの解決策を制限時間内で発表する。生徒らは本番を前に予行演習に励んでいる。

大和ハウス提示の課題「型破りな土地活用」を

同校は、実社会と連動しながら考え表現することで創造性や生きる力を伸ばすキャリア教育の一環で、同社のプログラムを導入。5月から2、3年生29人が六つのグループを組織し、地域で聞き取り調査や研究をしながら、出された課題への答えをまとめた。

赤堀を震源に地震

15日 元宿町などで震度1

15日午後2時23分ごろ、群馬県南部(伊勢崎市赤堀今井町)を震源とする地震があり、観測した。震源は国道

中高合わせて96校約1万3000人の倍率を突破した60チームの一つに選ばれたのは、大和ハウスの課題に挑戦した鈴木梨乃さん(14)、飯島彩晶さん(15)以上3年、橋爪美紅さん(14)、大澤行輝さん(14)以上2年、の5人だ。「超高齢化社会に夢のある未来を作り出す型破りな土地活用サーブिस」という難題の答えを導くため、市民へのアンケートや桐生市長への面会を実践。一つの建物に高齢者を集めた交流拠点を発案したが、同社員との面談で厳しい指摘を受けた。練り直しの過程で口論もあったが、最後はまちの中心に世代間交流拠点を設けるアイデアをまとめ切った。「出られるとは全然思わなかった」と5人。リーダーの鈴木さんは「皆でここまで頑張れた。グランプリを取ります」と意気込みを語る。福田享教頭(54)は「個性が強くてけんかもする一番大変なチームだった。出場する中で中学校は2割。本番では全部を出し切ってほしい」と期待している。

一クル、合同でボランティア

役のお年寄りにおやつ振る舞う



お年寄りたちにふるまう「酒粕のパンケーキ」を手作りする学生たち(桐生ケアセンターそば風で).....

「合同ティータイムボランティア活動」として今年2回目となる取り組み。同大学医療保健学部栄養学科2、3年生のサークルメン

林

最後の遺言と「若手の演奏家に演奏のと、風岡さんの「純粹に音楽してお願いしたい。場を提供したい」と、県内出を楽しんでほしい」という思ひがこぼれます。身者を中心に結成された合奏 いは伝わったと感じた▼五感

▼エムズパレット15周年記念作品展「My Favorite Flowers」11月3〜5日・有鄰館(主催・エムズパレット)

本社後援の催し